

## 企画展 人のすがた、人の思い —収蔵品にみる人々の物語—

2022年4月5日(火)～5月29日(日)

### プレスリリース

#### 【開催趣旨】

絵画、書跡、彫刻、工芸品、歴史資料をとおして、①女性のすがた、②思いに向き合う、③名所に集う、④民衆へのまなざし、の4つのテーマを設定し、人々がどのようなすがたや形、そして動きをしているか、そこからどのような思いが表現されているかを探ります。新型コロナウイルスの蔓延によって人々の動きが大きく制限されるなかで、改めて人と人の交流の大切さを見直してみたいと思います。

#### 【主な作品・みどころ】

- ① 狩野派のバイブル 探幽縮図「和漢古画帖」狩野探幽筆 一挙公開
- ② 隅田川の歩き方「兩岸一覽」鶴岡蘆水
- ③ 重要文化財「賀茂競馬・宇治茶摘図屏風」久隅守景筆 リニューアル後、初公開

#### 【展覧会構成】

##### 〔女性のすがた〕

絵画や物語、和歌などに登場する人物には、そのイメージにふさわしいすがたが求められます。たとえば、服装や仕草によって、愛らしい庶民の女性であったり、中国の理想の美人像であることが分かります。また詩は、心の奥の理性や情念を豊かに表現することができます。ファッション情報は、女性自身にとっての理想像を具体的な形にしたものです。ここでは女性のすがたを取り上げ、その思いを探ります。



「木蘭詩図衝立」(部分) 勇敢な女性木蘭の物語は、ディズニーのアニメ映画「ムーラン」のモデルとなった。

〔思いに向き合う〕

人は多くの思いをもっています。天変地異や疫病などを恐れる気持ち、幸せに暮らしたい、美しくありたいなど限りはありません。一方ではこれらの思いを正しく導こうとする法や教えなども存在します。絵画の場合、絵師の頭領は弟子たちのために手本(縮図)を作ります。「探幽縮図」からは過去の作品の模写を通して人のすがたや形に視線を注いだ狩野探幽の思いを知ることができます。さまざまなメディアやテーマによる思いの表現をみていきます。



「探幽縮図(和漢古画帖)」(部分)狩野探幽筆

狩野探幽が鑑定などを依頼され日本・中国の古画を縮小模写したもの。

〔名所に集う〕

江戸時代に入り、世の中が安定し、参勤交代によってインフラが整備されると、庶民も旅を楽しむようになり、多くの出版物によって、各地の名所への興味も広がっていきました。また都市の繁栄とともに、これまでは上層階級の武士などのものであった行楽が庶民の楽しみになっていきます。隅田川の「兩岸一覽」や、「天の橋立・和歌浦図屏風」など、江戸や京都の人々が集う行楽のすがたや、名所をめぐる思いを紹介します。



「兩岸一覽」(部分)鶴岡蘆水

東岸と西岸で視点の位置を変えた大胆な構図が魅力。

〔民衆へのまなざし〕

近世に入り、絵画のモチーフとして、都市の繁栄を享受する庶民のすがたが描かれるようになりました。「雑画帖」には江戸の人々や読み物に登場する人物が生き生きと描かれます。また、働く人々のすがたも取り上げられるようになり、多くの職人尽絵がつくられるようになりました。江戸時代の人々を描く絵師の作品には、現世の楽しみを素直に肯定しようとする人々のすがたが映し出されます。庶民の生活や思いをきめ細かい観察によって描こうとする絵師の眼差しをご覧ください。



重要文化財「賀茂競馬・宇治茶摘図屏風」

(賀茂競馬図部分) 久隅守景筆

鼻をかむ人の横で顔をそむけるなど、身の回りの人のちょっとした仕草などをうまく表現している。

大倉集古館 企画展 人のすがた、人の思い—収蔵品にみる人々の物語—

**【展示作品数】**

・約 25件

**【イベント】**

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時:4月14日(木)、4月28日(木)、5月12日(木)、5月19日(木) いずれも14:00～

料金:無料(「人のすがた、人の思い」展の入館券が必要です。)

**【基本情報】**

会期:2022年4月5日(火)～5月29日(日)

開館時間:10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

入館料 一般1,000円、大学生・高校生800円、中学生以下無料

※同会期中のリピーターは200円引き(前回ご来館時のチケットをご持参ください)

※20名様以上の団体は100円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方と同伴者1名は無料。

主 催 公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協 力 株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

TEL:03-5575-5711(代表)、FAX:03-5575-5712

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3(The Okura Tokyo 前)

HP:<https://www.shukokan.org/>

**【アクセス】**

○東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」中央改札(泉ガーデン方面)より5分

○東京メトロ日比谷線「神谷町駅」4b出口より7分

○東京メトロ日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A1またはA2出口より8分

○東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」13番出口より10分

○東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」3番出口より10分

**【展覧会に関するお問い合わせ】**

(展覧会担当)高橋裕次 (たかはしゆうじ) takay●shukokan.org (副館長兼学芸部長)

(広報/副担当)四宮美帆子 (しのみやみほこ) shinomi●shukokan.org (副主任学芸員)

(●を@に変えてください)

電話:03-5575-5711、FAX:03-5575-5712

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、会期等の変更が生じた場合は当館 WEB サイトでお知らせします。

企画展 人のすがた、人の思い —収蔵品にみる人々の物語—  
広報用画像申請書

宛先:大倉集古館 学芸部 四宮美帆子 宛

FAX:03-5575-5712、E-mail:shinomi●shukokan.org (●を@に変えてください)

■図版使用に際しての注意

- ・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
- ・使用後のデータは破棄してください。
- ・ウェブ上で使用する場合は、コピーガードを施し、解像度 72dpi 以下にしてください。
- ・画像への文字のせ、加工などを希望する場合はご相談ください。
- ・図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・画像使用の掲載誌や放送 DVD は 1 部ご送付ください。

希望	No	作品
	1	「木蘭詩図衝立」(部分)、中華民国・20 世紀
	2	「道成寺図」酒井道一筆、江戸時代～明治・19～20 世紀、個人蔵
	3	「不動明王坐像」円空作、江戸時代・17 世紀
	4	重要美術品「探幽縮図(和漢古画帖)」(部分)、狩野探幽筆、江戸時代・17 世紀
	5	「都風俗化粧伝」佐山半七丸著、江戸時代・嘉永 4 年(1851)、個人蔵
	6	「両岸一覽」(部分)、鶴岡蘆水、江戸時代・天明元年(1781)
	7	《太神楽図》(「雑画帖」のうち)、英一蝶筆、江戸時代・17 世紀
	8	《大森彦七図》(「雑画帖」のうち)、英一蝶筆、江戸時代・17 世紀
	9	重要文化財「賀茂競馬・宇治茶摘図屏風」(賀茂競馬図部分) 久隅守景筆、江戸時代・17 世紀
	10	重要美術品「上野観桜図・隅田川納涼図屏風」(上野観桜図部分) 宮川長亀筆、江戸時代・18 世紀

※所蔵者表記のないものは大倉集古館蔵

ご住所	
貴社名	
ご担当者名	
TEL/FAX	TEL: FAX:
E-mail	
媒体名	
発行・放送 予定日	

大倉集古館 企画展 人のすがた、人の思い—收藏品にみる人々の物語—

No. 1



No. 5



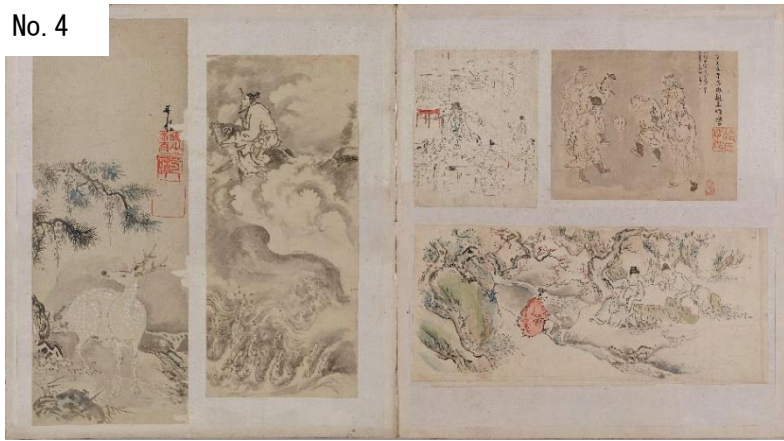
No. 2



No. 3



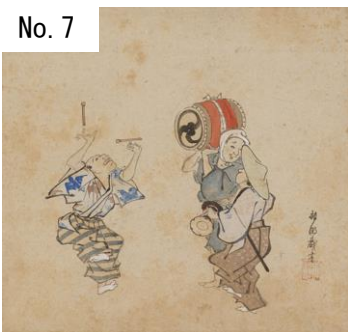
No. 4



No. 6



No. 7



No. 9



No. 8



No. 10

